

報道機関各位

到津の森公園将来ビジョン(素案) に対する市民意見を募集します

北九州市では、開園から20年以上が経過した「到津の森公園」がこれから進むべき新たな姿を示すため、「到津の森公園将来ビジョン」(素案)を作成しました。

園の今後をより良いものとするため、市民のみなさまのご意見を募集します。

1 意見募集期間

令和6年1月17日(水) から 令和6年2月16日(金) まで

2 計画素案(概要版)及び募集要領

別紙のとおり

3 閲覧場所

- ・市ホームページ(1月17日(水)から公開)
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kensetu/04700228.html>
- ・北九州市役所本庁舎(1階広報室広聴課、11階建設局公園管理課)
- ・各区役所総務企画課・出張所
- ・到津の森公園



[問い合わせ先]

建設局 公園管理課

(課長)藤本、(係長)清水

電話:093-582-2464

「到津の森公園将来ビジョン」(素案)への意見提出用紙

- 様式は自由ですが、このまま使っていただいても構いません。
- 用紙が不足する場合は、様式は問いませんので、ご自分でご用意ください。
- いただいたご意見は、住所、氏名（法人・団体名）、年齢を除き公表されることがあります。
- いただいたご意見に対して個別の回答はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

住 所 (所在地)
氏 名 (法人、団体名)
年 齢 ※個人のみ 10代以下 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代以上 <input type="checkbox"/> でかこんでください。
ご意見

到津の森公園将来ビジョン 市民意見募集(パブリックコメント)

～皆さんの声をお聞かせください～

開園から20年以上が経過した「到津の森公園」がこれから進むべき新たな姿を示すため、「到津の森公園将来ビジョン」(素案)を作成しました。園の今後をより良いものとするため、市民のみなさまのご意見を募集します。

意見募集期間 令和6年1月17日(水) から 令和6年2月16日(金) まで

「素案」の詳細については、市ホームページ（www.city.kitakyushu.lg.jp）のほか、北九州市役所本庁舎（1階広報室広聴課、11階建設局公園管理課）、各区役所総務企画課・出張所、到津の森公園で閲覧できます。

意見の提出方法

住所、氏名（法人・団体名）、年齢、意見を記入の上、次のいずれかの方法で提出してください。

① 電子申請（右のQRコードもしくは北九州市ホームページより申請いただけます。）

② 電子メール

宛先：ken-kouenkanri@city.kitakyushu.lg.jp

件名：到津の森公園将来ビジョンに対する意見について

③ 郵送

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

北九州市建設局公園管理課 到津の森公園将来ビジョン担当宛て

④ F A X

F A X 番号：093-582-0166

北九州市建設局公園管理課 到津の森公園将来ビジョン担当宛て

⑤ 指定場所への持参

○建設局公園管理課 ○各区役所総務企画課 ○広報室広聴課

意見提出書様式

様式は自由です。巻末の様式を参考にしてください。

問い合わせ先

北九州市建設局公園管理課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

TEL：093-582-2464、FAX：093-582-0166

電子メール：ken-kouenkanri@city.kitakyushu.lg.jp

電子申請QR

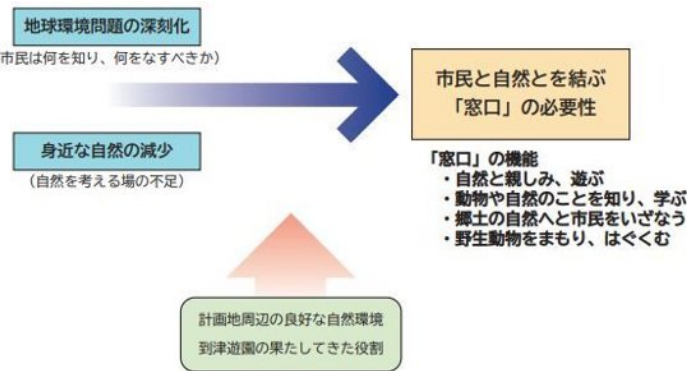


到津の森公園将来ビジョン（素案） 概要版

01 これまでの到津の森公園の歩み

「到津の森公園」の前身は、民間の到津遊園です。平成10（1998）年の閉園決定後、市の当時の人口の約4分の1にあたる26万人の市民と52団体からの存続を求める声や、北九州市議会での到津遊園の存続に関する全会一致の決議を受け、北九州市が引き継ぐこととなりました。

そして、平成14（2002）年4月13日、「市民が支える自然の森公園」として開園しました。



現行の基本計画 平成12（2000）年に策定

～基本理念～

市民と自然とを結ぶ「窓口」となる公園をめざす

～4つの基本方針～

- ・ 自然環境や動物とのふれあいを通じて楽しみながら学習する「**自然環境教育施設**」とする。
- ・ 市民や企業などから様々な協力が受け入れられる「**市民が支える公園**」とする。
- ・ 良質なサービスを継続的に提供するため「**効率的な運営**」を目指す。
- ・ 県と協議・協力し「**中央公園と一体的な整備**」を行う。

02 動物園を取り巻く環境の変化

① 動物福祉の向上に関する重要性の高まり

飼育動物が幸福に暮らせるよう、生息環境に近く動物と自然との関係を理解できるような展示。

② 生物多様性保全への貢献、研究に関する重要性の高まり

希少野生動植物に関する環境教育・普及啓発機能や「種の保存」機能の役割。

③ 持続可能な社会の取組に関する重要性の高まり

持続可能な開発（SDGs）や人と動物の共生社会づくり（ワンヘルス）の取組。

03 到津の森公園の強みと課題

■ 到津の森公園の3つの強み

到津の森にはさまざまな強みがありますが、特にこの3つが挙げられます。

- ① 動物サポーターや友の会、市民ボランティアをはじめとして、様々なかたちで多くの人々に愛され支援していただいていること
- ② 環境学習プログラムや林間学園など、自然環境教育を大切にしてきた長い歴史があること
- ③ 残してきた森と育ててきた森、街中にありながら自然と一体化した緑あふれる環境であること

これら特性を到津の森公園の強みと捉え、今後ますます園の魅力向上に取り組めます。

■ 到津の森公園の5つの課題

園が今後取り組むべき課題として次の5つが考えられます。

- ① 強みをいかした運営・集客
- ② 環境教育施設としての機能強化
- ③ 多様な客層に向けたコンテンツづくり
- ④ プロモーション・コミュニケーションの強化
- ⑤ 動物の飼育展示のあり方

今後の社会経済情勢の変化や、動物飼育に関する環境変化等の影響を見定め、これらの課題解決に向けた取組を進めていきます。

04 基本理念

現基本計画の基本理念を継承しつつ、さらに未来へ向けて園が持つ価値を高め・つないでいく必要があります。そこで、到津の森公園が目指すべき姿として、次の「基本理念」を掲げます。

かけがえのない自然やいのちを
世代を超えて未来へつなぐ公園を目指す

05 5つの基本方針と2つの取組姿勢

基本理念を実現するため、次の5つの「基本方針」を定めます。

基本方針 1

みんなに愛され、これからを一緒につくっていく「**市民とともに歩む公園**」

「市民が支える公園」という姿勢を継承し、市民をはじめ企業や学校、地域、北九州出身者など「みんな」に様々な場面で園に関わっていただく機会を設け、「みんな」から愛され、「みんな」と一緒に公園の未来を作ります。「みんな」にとって身近な公園として世代を超えて愛される場所を目指します。

基本方針 3

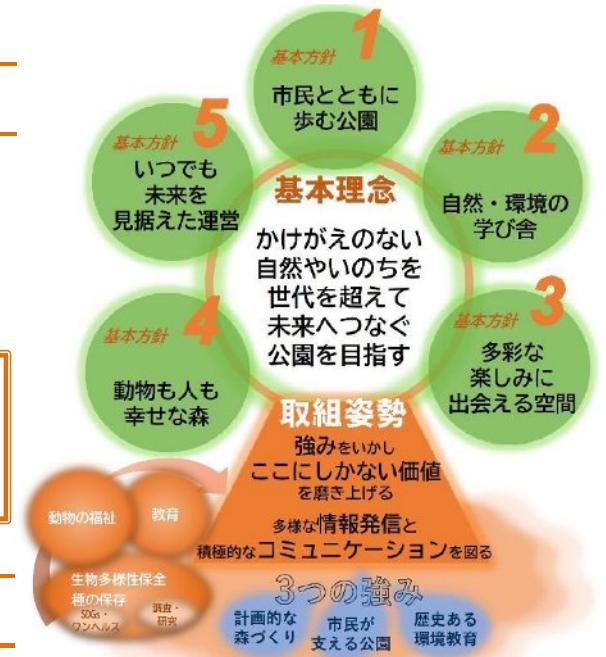
その人その人にあった楽しみ方・過ごし方を生む「**多彩な楽しみに出会える空間**」

「動物を見る」「動物とふれあう」だけでなく、年齢やライフスタイルにとらわれず、人それぞれにあった楽しみ方、過ごし方ができる環境を整えます。また、近隣の他施設と連携しながらプログラムを企画するなど、地域全体としても多彩な楽しみ方・過ごし方をつくっていきます。

基本方針 5

高品質なサービスを提供し続ける「**いつでも未来を見据えた運営**」

園の強みをいかした取組を一層進め、集客力を強化し、収益向上に努め、民間活力を最大限に活かす取組を行い、サービスの質向上や過ごしやすい環境づくりへの投資等、園の魅力を高めるための好循環をつくります。また、園のスタッフの人材育成に積極的に取り組めます。



基本方針 2

自然や命の大切さへの理解を深め、楽しく学ぶ「**自然・環境の学び舎**」

動物の生態や園内の豊かな自然を活用した、多彩な展示やプログラムを提供し、自然や命の大切さを楽しく学べる施設を目指します。また、自然環境や生物多様性の保全について分かりやすく発信し、提供するプログラムの充実につなげます。

基本方針 4

動物がありのまま幸せに暮らすとともに、誰もが安心して過ごすことができる「**動物も人も幸せな森**」

動物が自然に近い状態でのびのびと幸せに暮らしていける空間をこれからも追求し続けるとともに、「動物の幸せ」と「人の楽しみ」のバランスを取った飼育・展示方法やプログラムの在り方を考え続けます。また、小さな子どもを連れて家族、若者、高齢者や障害のある人など誰もが安心・快適に過ごすことができる環境づくりに努めます。

また、基本理念や基本方針の実行にあたり、次の「取組姿勢」を常に意識しながら取組を進めていきます。

取組姿勢 1

自然や立地など到津の森公園の強みをいかし、ここにしかない価値を磨き上げる

取組姿勢 2

多様な情報発信と積極的なコミュニケーションを図る